

2024 年度 JASO シンポジウムの報告



61

②輪島市大規模火災の状況

講師：消防研究センター研究室 篠原雅彦 室長

輪島市河合町で発生した大規模火災の概要、2016 年の糸魚川市の延焼火災との比較による延焼が拡大した要因について報告があり、飛び火による発火点の増加が延焼拡大の要因になった可能性がある旨の説明があった。

③能登半島地震における杭基礎の被害と教訓

講師：東京科学大学 田村修次 教授

輪島市の転倒したビルについて、模擬実験による転倒のメカニズムを地盤との関係で紹介し、転倒に至らなかったが傾斜したビルの被害などから被災後の継続使用に向けた杭基礎の重要性について説明があった。

④被災者向け融資制度の紹介

講師：住宅金融支援機構 林憲政 部長

住宅金融支援機構が用意する災害復興住宅融資の 2 つのメニュー、災害復興住宅融資(災害融資)と高齢者向け災害復興住宅融資(災害リバモ)について具体的な紹介があり、その他自治体が用意する利子補給制度についても紹介があった。

○能登半島地震以降、融資について問合せはあるのか。

⇒熊本地震に比べて少ない。インフラの復旧や仮設住宅が遅れており、被災者が住宅の再建まで気が回っていないためだと思う。

○首都直下地震に対する平時からの備えは。

⇒まずは、命を守るための建物の耐震化。東京で地震火災が起これば、消防署の消火は手が回らない。初期消火が重要になる。また、能登半島では、凄い道路渋滞があった。道路のインフラ整備が重要だ。東京は、自給自足できない都市なので、各自で 1 週間程度の備蓄が必要だ。



意見交換風景

参加者と講師の意見交換

4 人の講師の講演の後に設けた意見交換の場では、それぞれの講演内容に付いて多くの質問、意見が出された。それぞれの講演内容に対する主な質問意見と応答は、以下のとおり。

○地震災害から人命を救うためには、個人住宅の耐震補強が重要であるが、コスト等の問題から難しいと感じる。

⇒助かる確率が上がるので、家具の固定を行う。木造密集地域では、地域全体で耐震化に取り組むことが重要。

○木造密集地域での延焼火災を防止するために何が必要か。

⇒耐震ブレーカー等で通電火災を防ぐ。また、初期消火のために消火器を用意する。

○耐震性の把握には耐震診断があるが、杭を診断する方法はあるか。

⇒杭基礎の調査は、コストなどの面で難しい。しかし、今後は考えていかなければならない。

能登半島地震で明らかになった新たな課題

能登半島地震では、新たな課題として中高層建物における杭基礎の問題も有ることが明らかになった。

このシンポジウムを通じ、今後の大規模地震に対する備えとして取り組むべき課題として、基礎杭に着目するほか、以下の 2 点を挙げたい。

①地震で被災した地域で起こる多重災害への備え

能登半島では復旧途中の 9 月に豪雨による土砂崩れなどで更に被害が拡大した。今回の豪雨は台風によるものではないが、日本では、例年 8 月末から 10 月初旬にかけて台風が直撃する可能性が高まる。そうした多重災害へのリスクを視野に入れた復旧、復興の取り組みが必要である。

②脆弱な交通網による復旧、復興の遅れ

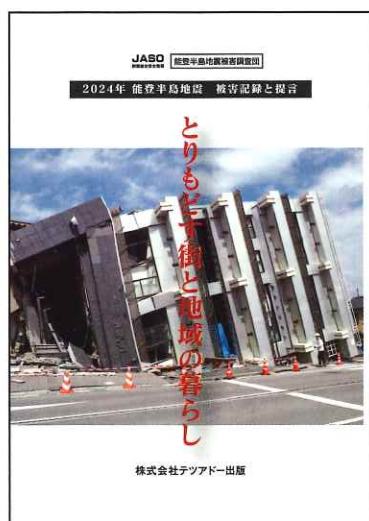
特に大都市圏の地震防災を進める上では、被災地域での救援、救助活動、物資等の搬入を担う緊急輸送道路の重要性が明らかになった。東京都では、緊急輸送

道路沿道建築物の耐震化に取り組んでいるが、その機能維持のために更に取組みを強化する必要がある。

最後に、今回のシンポジウム開催に際して、(独)住宅

金融支援機構に共催いただいたほか、東京都を始め8団体から後援をいただいた。共催、後援に関し深く感謝するとともに、これからもJASOシンポジウムの開催に際し、特段の配慮、協力をお願いしたい。

New Release
新刊



ISBN978-4-903476-88-9

JASO 耐震総合安全機構 著

2024年 能登半島地震 被害記録と提言

とりもどす街と地域の暮らし

2004年設立の耐震化支援の団体であるNPO法人耐震総合安全機構(JASO)では、地震災害発生の際に現地被害調査を行い、これまでに2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震の報告書を作成しました。

2024年1月1日に発生した能登半島地震でも現地調査団を派遣し、地元に関係のある会員が個人として参加、また協力会員企業も施工実績を調査しました。震災被害固有の有り様を記録として残し、調査結果および考察をまとめたものが本書となります。

破壊された建物には多くの貴重な教訓が残されていますのでそれを記録し、さらに被害の要因や対策を考えることが本書の目的となっています。

(本書のまえがきを要約しています)

定価 4,400円(税込)・送料別
A4版・カラー・200ページ

FAX(03-3228-3401)や
E-mail (info@refo.co.jp)でも
お受けいたしますのでお気軽に
お問い合わせください。



お申込はテツアード出版BookShopから!

発行 株式会社テツアード出版 〒165-0026 東京都中野区新井1-34-14 ☎03-3228-3401 <https://refo.co.jp>